



# CSRレポート 2025



# こうち生協がめざしているもの

## 基本理念

### 健康と子どもたちの未来のために

- 人間らしい豊かな暮らしの創造、よりよい環境と平和をめざします
- 地域住民の暮らしと健康を守り、住みよい地域社会づくりをめざします
- 協同の輪を広げ、県民の多数が参加する組織をめざします
- 地場生産者と手を取り合い、安心・安全なコープ商品の開発をすすめます
- 地域のさまざまな団体、商工業者のみなさんとともに「協力・協同」を強め、明るい町づくりの取り組みをすすめます
- 継続発展できる経営基盤の確立と人材育成をめざします

1985年11月18日、こうち生協は2,013人の組合員によって立ち上がりました。  
すこやかな未来とよりよい暮らしのためにお互いに支え合い、理想を実現しようと集まった組合員は高知県全域で10万人を超え、その輪はますます広がっています。

## こうち生協のSDGsの取り組み

こうち生協は協同組合の理念のもと、地域社会のよりよい環境と平和のために取り組んできました。高知県が推進する「こうちSDGs推進企業登録制度」にも登録され、地域でのパートナーシップを強化するとともに、活動を内外に広めていくことに取り組んでいます。



こうち生協では、SDGsの17の目標のなかでも、次の3つの課題に優先して取り組みます。



### ■2030年までに組合員世帯加入数11万人を実現

こうち生協は宅配、店舗、共済、サービスの4つの事業を通じて、組合員さんと地域の暮らしを支えています。2030年までに組合員世帯加入数11万人を実現し、さらに地域・暮らしに貢献できる組織へと発展することを目指します。



## こうち生協始めませんか？

妊娠中の方、12歳以下の  
お子さまがいらっしゃる方で期間中に  
新規個人宅配登録された方は配達料1年間無料

県内  
食材宅配  
人気No.1

個人配達料が

¥6,325～¥6,628までの  
期間限定キャンペーン

# 1年間無料

### おすすめ商品

国産素材の  
離乳食



野菜を凍らせて冷凍している  
ます！そのままでも、スープ、  
パンなど加熱後でも安心！



国産米と厳選野菜、しょうがを  
かつおダシで炊いたうま味が、  
レンジで手軽に加熱！



塩を使っていない無添加の国産  
小麦のうどんは離乳食にピッタリ！  
焼きうどんもおいしょ！



2024年度は個人宅配の手数料が無料となる子どもさんの年齢を、8月までの期間限定で従来の3歳未満から12歳以下に上げし、幅広い子育て世代へのアピールとなりました。

しかし、通常個人宅配の手数料が改訂されたことから、宅配加入数が鈍化し、2024年度の新加入数は前年度より488人減少する結果となりました。

data □2024年度新規加入数/3,222人

## ごあいさつ

2024年度も、世界的な気候変動の影響による干ばつや豪雨災害により原料の不足や価格の高騰が続きました。また、戦争や円安の影響も重なり、物価の上昇が続いた一年となりました。国内でも天候不順により、野菜の高騰やコメのが発生するなど、地球温暖化が起因とされる「気候変動」は、地球上の生き物の営みに大きな影響を与え続けています。

そういった状況の中、こうち生協では協同組合組織と連携したフードドライブや高知県と協同して取り組んだ「あっちCO<sub>2</sub>こうちデジタルdeスタンプラリー」など、こうち生協だけでなく行政や地域の諸団体と一緒に、SDGs持続可能な社会実現に向けた行動が、たくさん生まれた一年となりました。なかでもコープかもべ店では、高知国際高校の生徒の皆さんがSDGsの探求学習の一環として、店舗内の値引きコーナーを「フードロス削減コーナー」へと再構成する取り組みを行い、多くの組合員さんのフードロス削減の意識向上につながったこととなりました。こういった「よりよい暮らしを」との想いが、生協という場を通じて地域に広がっていきなにかかわりを、これからも続けて行きたいと思えます。

一方でコロナ禍の収束後、高知県では少子高齢化と人口減少が加速的に進んでいます。これにより地域の暮らしを維持していくことさえ困難となりつつあります。そうした状況の中でここで暮らし続けていきたいという想いを支える存在として、また地域の皆さんと共に持続可能な地域社会を創造していく仲間として、こうち生協への期待は大きくなっています。

今回の「こうち生協 CSR レポート」は、こうち生協の事業や活動、組合員さんの社会貢献活動への参加を、SDGsの目標との関係で編集をさせていただきました。ぜひこのレポートをご一読いただき、今後のこうち生協の事業・活動に対してのご意見をいただければと思います。



代表理事 理事長 佐竹 一夫

12 つくる責任  
つかう責任



## ■ エシカル消費の普及

環境、地域、社会、人々に配慮した商品を「エシカル消費」と位置づけます。こうち生協では、こうち生協独自カタログを通じて地場産品の普及に貢献します。またイベントや広報を通じて組織内外にエシカル消費を普及します。年1回イベント開催。

エコチャレンジ 2024 として6月に組合員を対象に「“エシカル”クイズに挑戦」を実施しました。クイズに親子でチャレンジするなど、幅広い世代に楽しみながらエシカル消費を学んでいただく機会となりました。

初めに主人がチャレンジ。一つしか合っていない？(PCで調べてみました)私もJAS、エコマーク以外は気にしたことが無く勉強になりました。

参加者の声より



data

□2024年度エコチャレンジ応募数/578件

15 誰の目からも  
守ろう



## ■ カタログの紙使用量を削減

商品カタログに使用する紙使用量を、2030年までに2021年度比で10%削減します。

紙使用量削減のためにデジタル化の推進に取り組んでいます。コープアプリの利用者が年々増加していることに加え、2024年度は宅配事業の配達手数料の見直しに伴い、カタログの発行数が大幅に削減されました。

data

□コープアプリの登録者数/7,790人(2025年3月末時点)  
□商品カタログの紙使用量/2021年度比91.8%



# 事業紹介

関連する  
SDGsの  
目標



生協とは「生活協同組合」のことで、私たち消費者が暮らしの中で生まれ共通の願いを実現するために手を取り合い、自ら運営していく組織です。安心・安全な食と暮らしを求め、組合員一人ひとりが「出資」「利用」「運営」に参加することで支えられています。

## 共同購入事業

6か所の支所より高知県下全域に商品を配送しています。ご自宅の玄関先にお届けする個人宅配、ご近所のグループや職場にお届けする共同購入、お店や各拠点での商品受け取りなど、組合員さんのニーズに応じた形態でお届けをしています。



### ● 配送インフラを活用した地域貢献

安田町と包括連携協定を締結したことをきっかけに、地域の買い物支援策として山間僻地への物資提供の員外利用申請許可を得て、町内の小売店にコープ商品を卸売する取り組みが2024度からスタートしました。また高知県西部の離島で、学校給食で使用する食材の一部をこうち生協で提供できるようになりました。定期船に載せてお届けする「美し牛乳 200ml×6本」の味が濃厚で美味しいと喜ばれています。



data

□ 宅配事業全体の供給高 / 97億4,560万円 (1万円未満は切捨て)

## 店舗事業

日々の暮らしに役立つ商品を提供し、地域に喜ばれる買い場づくりを進めるとともに、地域や組合員活動の場を大切にしたい、ぬくもりのあるお店づくりをめざしています。



### ● 一人ひとりの声が活かされる店

こうち生協の店舗では、店内に「よかったよ よくするカード」として、来店者に声を投稿していただき、スタッフの回答を入れて掲示する取り組みを実施しています。



店内に掲示している  
「よかったよ よくするカード」▶

## ●地域の諸団体と連携

店舗は買い物をする場だけではなく、地域課題を解決する場として、地域の諸団体や教育機関などとのつながりを大切に、SDGsの取り組みをすすめていきます。

地域の高校生が発案した食品ロス削減コーナー▶



data

□店舗事業の供給高/19億9,740万円(1万円未満は切捨て)

## ■共済事業

CO・OP共済は相互の助け合いによって、組合員さんの暮らしの個人的リスク、社会的リスクに備える手段の一つです。手軽な掛け金で充実した保障を実現できるよう、組合員さんの声をお聞きしながら制度の改定を行っています。



### ●お腹の中にいる赤ちゃんの保障が登場

2024年度よりお腹の中にいる赤ちゃんの保障を、妊娠中から申し込みいただける「お誕生前申し込み制度」がスタートしました。

出産後赤ちゃんに思わぬ病気が発生した場合でも、赤ちゃんが保障を受けられるようにと、ママやパパの想いをもとに開発された制度です。



### ●WEB手続きでより便利に

共済金請求手続きをはじめ、約8割の申請手続きが共済マイページを通じて、組合員さんから直接行えるようになりました。

以前は紙ベースでの申請書を書いたり、領収書をコピーしに行ったりと、正直手間や煩わしさがありましたが、ネットからの請求になって、とてもスムーズで分かり易く、仕事や育児の合間に直ぐにできるようになりました。

組合員さんの声より

data

□加入件数/72,942件 □給付件数/10,297件 □給付金額/677,606円  
□共済保険給付者ありがとうの声 1,524件

## ■サービス事業

快適な暮らしづくりのお手伝いとなるよう、住宅、各種チケット、葬祭など生活に必要な様々なサービスの提携を広げることで、よりよい暮らしへの貢献をめざしています。

### ●組合員さんのお困りごとに応える

ハウスクリーニングやピアノ調律など普段の暮らしをより豊かにするサービスを展開しています。2024年度は印鑑制作サービスを再開しました。



data

□サービス事業全体の供給高/1億3,974万円(1万円未満は切捨て)

# 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します

関連する  
SDGsの  
目標



こうち生協は、諸団体との連携を大切にしながら、生協の事業や活動のインフラを活用して誰一人残さず安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します。

## 地域社会の課題解決を目指して

地域におけるくらしの困りごとへの支援活動に取り組んでいます。



### ■配食事業「夕食宅配」を実施

こうち生協ではカロリーと塩分を調整した日替わりの夕食をお届けしています。日々の定期的なお届けを通じ、高齢者の見守りにもつながっています。また、2024年度は児童クラブで夏休み期間中の昼食としてお弁当を利用していただく取り組みも試験的に実施され、新たな利用形態を模索しています。



▲放課後児童クラブへお届け

### ■「もったいない」を「ありがとう」に

2024年度も高知県生活協同組合連合会とともに、フードドライブ活動に取り組みました。共同購入の配送でも支援物資の提供を呼びかけ、組合員さんから支援いただいた商品は、こうち食支援ネットを通じて、支援を必要としている団体などに寄付させて頂きました。

data □集まった支援物資数量/503点



## 行政・地域諸団体との連携



### ■地域を見守る取り組み

宅配事業の基盤を活用した「地域の見守り活動」は、配達の際に担当者が異変に気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に連絡を行うものです。



2007年10月19日 高知県、こうち生活協同組合、高知県民生委員会・児童委員協議会連合会の三者の間で「地域見守り協定」を締結。  
2008年10月14日 高知市民生委員協議会連合会と、高知市における地域の見守り活動に関する協定を締結。

### ■自治体との連携を強化

地域の防災やインフラの維持などを目的に、2024年度は新たに高知市、土佐市と包括連携を締結しました。それをきっかけに子育て支援、災害支援、地域見守りなど、様々な分野で連携が広がりました。

高知市との締結式の様子▶



## 災害支援

災害（地震や風水害）に対して、被災地域への物資の補給や募金活動など、市民生活の立て直しに必要な支援を迅速に行うべく活動をしています。



### ■ 災害時に早期支援を

こうち生協は大規模災害等の発生時に自治体や他県の生協と相互に協力して住民生活の早期安定を図るため、食料・飲料水・生活必需品等の供給や事業の早期再開支援を行う協定を結んでいます。

**data** □協定自治体／12 行政 □協定生協／5 生協（2025 年 3 月末時点）

### ■ 全国の生協と協力して支援活動

2024 年 1 月に発生した石川県能登半島地震及び、同年 9 月に発生した能登豪雨災害募金に取り組みました。お寄せいただいた募金は、日本生協連、日本赤十字社、中央共同募金会を通じて、主に義援金として石川県、富山県、新潟県の被災者の方へ、また、支援金として災害ボランティア活動を行う団体などにお届けしました。

**data** □令和 6 年能登半島地震及び奥能登豪雨災害支援／28,546,299 円（2025 年 3 月末までの総額）

## 子育て支援

子育てしやすい地域社会をめざし子育て世代を応援しています。



### ■ 「子育てひろば」を毎週開催

コープよしだの組合員室で赤ちゃんや小さな子ども連れで気軽に参加できるひろばを週に 1 回開催しています。親子で遊び、保護者同士でゆったりくつろいで情報交換をする場になっています。

**data** □開催回数／44 回  
□参加人数／親子でのべ 195 人  
（2025 年 3 月末時点）

### ■ 出前授業

夏休み期間中に高知市内の放課後児童クラブへ訪問し、「平和」「金銭教育」「食育」「環境」をテーマに出前授業を開催しています。



**data** □2024 年度開催実績／7 か所

## くらしを見直す活動

組合員さんが学習できる場を創り、それらに関する情報提供を継続的に行っています。



### ■ 今知りたいことを伝える活動

LPA（ライフプランアドバイザー）の会では、大人から子どもを対象としてさまざまなセミナーや学習会を開催しています。



**data** □組合員 LPA9 人 □学習会開催 14 回 □参加人数 のべ 308 人（2025 年 3 月末時点）

# 健康づくりの取り組みを助け合い活動を進めます

関連する  
SDGsの  
目標



あらゆる年齢の人々が地域でいきいきと住み続けられるための健康づくりを食や運動、助け合い活動などの組合員活動を通じて進めています。

## 福祉・助け合い

こうち生協は組合員さん同士が助け合いの心を大切にし、その輪が更に広がることをめざした活動を行っています。



## ■ 暮らしの助け合いの会 コープたんぽぽ

「困った時はお互いさま」の気持ちを大切にする組合員さん同士の援助活動です。誰もが住み慣れた地域で安心してらせるよう、家事援助や病院等の付き添い・話し相手・産後の援助など幅広い活動を行っています。



data

□利用会員数/77人 □活動会員数/43人 □賛助会員数 101人 (2025年3月末時点)  
□総活動件数/1,866件 □活動時間/3,882時間

## ■ 学生と協同した健康づくりの活動

2025年2月に高知県立大学の健康栄養学部と協同で「みんなでサロン」をコープかもべで開催しました。学生が店舗総菜をアレンジしたレシピを考案し、調理・試食したほか、体組成測定器などを使用して健康チェックを実施し、健康維持のための食生活を見直すきっかけ作りとなりました。



## 食育の取り組み

「たべる\*たいせつキッズクラブ」は親子料理教室などのイベントを通じて、子どもたちに食べることの大切さなどを、知る・学ぶ・広げる活動をしています。



data

□2024年度イベント開催数/4回 □参加人数/のべ94人

## ■ 親子で和菓子作り体験

10月に『御菓子司 新月』の職人である西村大輔氏を講師にお招きし、和菓子作り体験をしました。和菓子の保存方法や、使用する道具についても学習し、普段食する機会が減少している和菓子について学ぶ機会となりました。



# 平和な社会をめざす活動を進めます

関連する  
SDGs の  
目標



私たちは、平和の実現をめざす活動を進めます。次の世代に戦争体験を継承するなど、平和な社会の実現に積極的に貢献します。

## 平和活動

こうち生協の理念「健康と子どもたちの未来のために」の中には、「平和なくして生協なし」二度と過ちを繰り返さず、家族が健康で平和な生活をおくることができるように、という願いが込められています。こうち生協では創立以来、平和について考え、学習するさまざまな取り組みを継続しています。



### ■ 平和への思いを折り鶴に

高知県内の各団体による平和のための企画「ピースウェイブ」にこうち生協も参加しています。7月に開催される平和七夕まつりには、高知空襲の被害が一番ひどかったといわれる高知市京町・新京橋のアーケードなどに高知空襲で亡くなった方たちへの鎮魂と平和への願いを込めて折り鶴の吹き流しを飾ります。2024年度も多くの組合員さんから折り鶴が集まりました。



### ■ ピースカンパの呼びかけ

こうち生協では毎年平和の活動を支えるピースカンパを呼び掛けています。7月に開催された高知県生協連が主催の被爆ピアノコンサートでは、高知市在住の被爆者に体験談を語っていただきました。



被爆体験を語る植野克彦さん(写真左)▶  
被爆ピアノコンサートの様子(写真右)▶



data □2024年度募金額/340,200円

### ■ ウクライナ緊急募金への取り組み

ロシアとウクライナの戦争が長期化するなか、こうち生協では日本ユニセフ協会を通して募金に取り組んでいます。紛争地域の子どもたちと家族の命を守るための物資提供や心身のケアを行う緊急・復興支援活動に役立てられます。



data □2024年度募金額/ユニセフウクライナ募金 1,133,148円

# 多様な人々が共生できる社会づくりを推進します



地域活動を通じ、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現をめざします。

## 多様な人材が働く元気な組織に

組合員さんのお役にたち、職員が元気に働き続けられるような組織風土づくりを進めています。

お互いの仕事から学び合える研修や学習を通じて次世代の育成を強化しています。また、やりがいを持って働き続けられる環境づくりのひとつとして専任職員や正規職員への登用制度を実施しています。



## ■ 男性育休促進事業に参加

2025年1月に高知県が男性育休促進事業として実施した「未来のパパママ共育て講座」に参加。子育て世代の職員を対象に男性の育休が必要な理由や夫婦で育休を取るメリットについて学ぶ機会となりました。



## ■ 障がいのある方の働く場づくり

こうち生協の特例子会社(株)ハートフルコープこうちでは、障がいのある方の雇用を積極的に進めています。



**data** □障がい者雇用人数 8人（2025年3月末時点）

## ■ 職員のチャレンジ精神を応援

定時職員から専任職員へ、専任職員から正規職員への登用を実施。職員の成長と働きがいを促し、活力のある職場づくりを進めています。

**data**

□2024年登用実績  
正規職員登用／6人  
専任職員登用／4人



## ■ 定年後も経験とスキルを活かせる環境を

60歳定年（再雇用）を迎える職員が、最長65歳まで働けるように定年後再雇用制度を設けています。

**data**

□2024年再雇用実績 13人



# 持続可能な社会づくりをめざします

関連する  
SDGsの  
目標



持続可能な生産と消費のために、つくる責任つかう責任を考えて行動し、商品と暮らしのあり方を見直していきます。

## エシカル消費の普及

全国の組合員の声を活かして日本生協連が開発し、全国の生協に供給しているコープ商品は、よりよい社会に向けて「地域」「環境」「社会」「人々」に配慮した消費行動＝エシカル消費に対応した商品づくりに取り組んでいます。



### ■コープのエシカル消費4つの視点

#### 1 豊かな地域を作り出せたら

生産者とのつながりや国産原料の使用拡大を通じて、日本の農畜水産業を応援。

主要な原材料に国産素材を使用している商品に付けるマーク



#### 2 地球の環境を守り続けることができれば

急速に悪化する地球環境を保持するため、環境配慮商品の開発と普及に努めています。

人と自然にとって、より良い未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマーク



ra.org/ja

カカオ



#### 3 公正な社会の仕組みが作り出せたら

商品を通じて社会インフラの改善や社会的公正の実現を目指します。

国際フェアトレード基準に基づいて認証を受けた商品につけられた認証マーク。



#### 4 人々の「生きる」を支えることができれば

困難とたたかう人を支援し、生きる人々全てを応援します。

コープ化粧品1点の利用につき1円を、認定NPO法人J. POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に寄付しています。

9月～10月のピンクリボン運動に合わせて寄付

協賛：コープ化粧品



### ■事業と連携してエシカルを啓発

エコチャレンジ 2024 を開催した6月には店舗でも「環境月間」としてエシカル対象商品の訴求活動を実施しました。

また、夏休みの放課後児童クラブで実施した食品ロスの出前授業で、子どもたちが作成した食品ロスの啓発POPを店舗で掲示するなど、事業と連携して、エシカル消費を実践する場を提供しています。

店舗でのエシカル対象商品陳列の様子(写真上)▶  
食品ロス啓発POP(写真下)▶



# 商品を通じた生産者とのつながり



こうち生協の産直は生産者と消費者がつながる事によって安全・安心な商品を組合員さんに届けること、持続可能な農業と地域に貢献することをめざしています。

## ■ 地場産品を普及し、地元の経済循環に貢献

### ● 地場産品カタログ

高知県内各地の地場産品を集めたカタログ「とさのゆさん箱」を発行し、県内の企業・生産者さんと、組合員さんをつなぐ活動に取り組んでいます。



### ● お店での地産地消

店内に産直コーナーを設置し、高知県産の農産物を販売促進しています。

また商品POPに生産者のコメントや顔写真を掲載するなどして県内産の商品を紹介し、高知県内の生産者を応援しています。



伝統野菜  
入河内大根の販売▶

## ■ しまんと地栗植樹プロジェクトに参加

地元の取引先業者である(株)四万十ドラマさんが取り組む「しまんと地栗プロジェクト」にこうち生協も参加。このプロジェクトは休耕田に栗を植樹することで、地場産業の発展に貢献しようというものです。2025年3月にも四万十市の畑に栗の苗木を20本植樹し、以降、収穫可能となるまでの期間、栗の木の手入れをしつつ、地域の生産者との交流を深めていきます。



▲ 植樹の様子

## サンゴ礁の海を守り育む活動

コープランの「沖縄味付太もずく」の産地である伊平屋島は、近年海岸周辺の漂着ごみが増加していることが問題となっています。こうち生協を含むコープしこく事業連帯機構では「美ら島応援もずくプロジェクト」として、伊平屋島の美しい海と自然を守るための活動を支援しています。



### 美ら島応援もずくプロジェクトとは？

島の特産品であるもずくを原料とした「沖縄味付け太もずく」を1点購入するごとに、製造委託会社である「海産物のきむらや」と「生協」で1円ずつ、合計2円が寄付されます。



▲ 漂着したごみを清掃する島民



動画でもご覧  
いただけます▶



data

□2024年度こうち生協寄付金額/26,815円  
合計寄付額/303,316円

# 2024年度環境レポート

## ■こうち生協 環境方針

### ～理念～

こうち生活協同組合（以下、こうち生協）は、「健康と子どもたちの未来のために」を基本理念とし、人間らしい豊かなくらしの創造、よりよい環境と平和をめざします。

### ～環境方針～

こうち生協は消費者が主体的に参加する組織であり、自らが食品・家庭用品等の供給、及び共済などの事業を行っていることを踏まえて、生協の活動が環境に与える影響を考慮します。環境に与える影響が大きな項目については、目標を設定し、定期的に見直すことにより継続的な改善を図ります。

1. くらしの見直しをすすめ、環境に優しい行動を広げます。
  - ・環境に配慮した商品の利用を広げます
  - ・環境に配慮したくらしを学び、実践します。
2. 事業活動による環境影響を改善します。
  - ・省エネや業務の効率改善、設備更新により、電気、ガス、水、車両燃料等の使用量を削減します。
  - ・適正な発注、在庫管理により、食品の廃棄ロスを削減します。
  - ・環境負荷を軽減する地産地消や環境影響に配慮した商品の取り扱いを増やします。
  - ・全国生協地球温室効果ガス総量削減長期計画に参加します。
3. 行政や地域の生産者、市民団体と協力・連携して環境に優しい取り組みを実施、支援します。
4. こうち生協や組合員さんの環境の取り組みを、生協内外へお知らせします。
5. 食品リサイクル法、容器包装リサイクル法をはじめとする環境関連法令、条例等を順守します。

この環境方針をこうち生協で働く職員に周知し、内外に公開するとともに、環境活動レポートなどで情報を公開します。

こうち生活協同組合 理事長

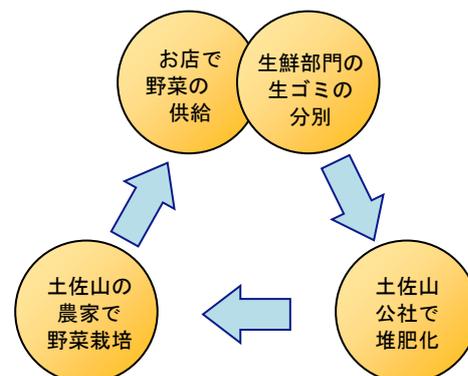
佐竹一夫

(2005年10月25日制定

2022年3月16日第12版改訂)

## ■食品廃棄物の削減

店舗では、生鮮の加工くずを堆肥にリサイクルするための収集作業に取り組んでいます。加工中に出る野菜くずや魚のあら等や賞味期限を過ぎて廃棄となる食品は「土佐山開発公社」が製造する堆肥の原料の一部となっています。出来上がった堆肥は、土佐山地区での農産物の栽培時に使用され、収穫された産直野菜をこうち生協の店舗で販売しています。こうした循環型農業の実現を応援しています。



## ■食品リサイクル

|                                   |       |    |
|-----------------------------------|-------|----|
| 食品廃棄物の発生量                         | 118.7 | トン |
| 食品循環資源の(両店舗の生ゴミリサイクル)再利用の実施量      | 52.3  | トン |
| 食品廃棄物等の廃棄物としての処分の実施量(店・センターの廃棄商品) | 66.4  | トン |

## ■食品リサイクル法への対応状況

|                               |      |   |
|-------------------------------|------|---|
| 法で要求される基準実施率(2007年度の実施率+毎年2%) | 64.2 | % |
| 当年度のこうち生協での再生利用等実施率           | 63.0 | % |

## ■容器包装などの回収・リサイクル

### ①店舗

店頭でペットボトル、牛乳パック、トレー、アルミ缶を回収し、リサイクルを行っています。また、ペットボトルのキャップを回収し、回収収益から医療支援や障がい者支援、子ども達への環境教育等の社会貢献活動を行う団体に提供しています。



### ②共同購入

宅配の配達時に資源物を回収し、リサイクルの輪を広げています。

- 商品カタログ → 再生紙に再生しています。
- 商品注文書 → 主にトイレトペーパーとティッシュに再生しています。
- 牛乳パック → 主にトイレトペーパーとティッシュに再生しています。
- 保冷箱内袋 → 固形燃料に再生しています。
- 卵パック → ペットボトルのキャップに再生しています。

## ■容器包装等の回収データ

| 回収品目          | 回収量            | 単位        |
|---------------|----------------|-----------|
| 容器包装等の回収      | 紙パック(アルミ不使用)   | 10,608 kg |
|               | 食品トレー(発泡スチロール) | 1,014 kg  |
|               | アルミ缶           | 6,670 kg  |
|               | PETボトル         | 19,115 kg |
|               | 卵パック           | 3,566 kg  |
| 宅配商品カタログの回収   | 1,715,820      | kg        |
| 宅配商品を入れる内袋の回収 | 13,414         | kg        |

### 通い箱の一部をリサイクル素材のものに切り替え

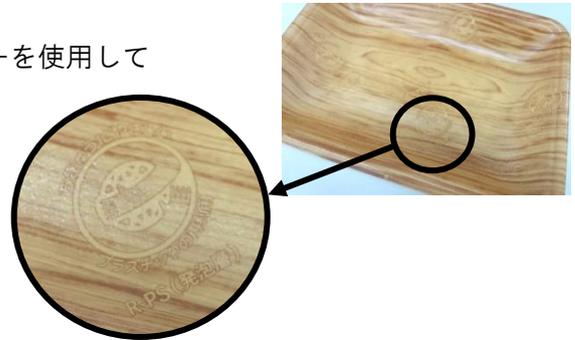
配達時に使用する発泡スチロール製の保冷箱を、リサイクル発泡スチロール原料(エスレンビーズ RNW)混合のシッパーに順次変更しています。これは使用済み発泡スチロールや廃家電のポリスチレンをリサイクル活用した発泡スチロールで、従来の発泡スチロールに比べCO2発生量の削減にも繋がります。



▲(左)リサイクル素材の保冷箱

### プラスチック削減の取り組み

店舗で使用する食品トレーの一部でリサイクルトレーを使用しています。店舗では使用済みトレーの回収も実施し、「トレーto トレー®」の資源循環に取り組んでいます。



## ■エネルギー問題

### 再生可能エネルギーの取り組み

2012年6月に、「こうち生協のエネルギー政策と原子力発電に関する基本的な考え方」として以下の5つの項目にまとめ公表しました。

- ① 原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換が必要であると考えます。
- ② 福島原発の事故の原因と責任について、国が国民に明らかにすることが必要と考えます。
- ③ 再生可能なエネルギー利用の促進が必要と考えます。
- ④ 事業活動において、今以上に省エネルギー化を進めていくことが必要と考えます。
- ⑤ エネルギー消費がより少ない暮らしについて一人一人が考え行動していくことが必要と考えます。

2003年5月から、太陽光を利用した市民共同発電所「太陽くん」がコープよしだの屋根で稼働しています。これは県内外の市民有志が共同出資し、こうち生協が屋根を提供しているものです。発電された電気は生協が買取り、コープよしだで使用しています。



2014年8月末に商品センター、2015年7月から中央支所、9月から須崎支所の屋根に太陽光発電設備を設置し、発電を開始しました。

発電容量:570,443kwh

### 事業での省エネ

本部事務所でのクールビス、店舗・商品センター・リサイクル棟の屋根の断熱塗装、省エネ機器・LED照明の導入を実施し、電気消費の節約を進めています。また、商品センターではアンモニアを冷媒とする冷凍冷蔵設備を導入することにより、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。



▲節電を呼び掛けるPOP

省エネタイプのショーケースを導入▶



■事業所での電気使用状況

2024年度の電力使用量は残暑の厳しさが影響したこともあり、前年度対比で2.7%の微増となりました。

|        | 単位  | 2023年度    | 2024年度    | 前年比    |
|--------|-----|-----------|-----------|--------|
| 共同購入   | kwh | 378,627   | 392,458   | 103.7% |
| 店舗     | kwh | 1,924,630 | 1,970,269 | 102.4% |
| 商品センター | kwh | 1,202,735 | 1,233,827 | 102.6% |
| 本部     | kwh | 62,158    | 67,349    | 108.4% |
| 全体     | kwh | 3,568,150 | 3,663,903 | 102.7% |

■車両について(生協で使用している車両の台数)

|                                     |              |     |   |
|-------------------------------------|--------------|-----|---|
| 自生協で所有またはリースしている配送用トラック             | ディーゼル車       | 104 | 台 |
|                                     | ガソリン車        | 8   |   |
|                                     | LPG車         | 0   |   |
|                                     | 合計           | 112 |   |
| 自生協で所有またはリースしている営業車                 | ガソリン車        | 51  | 台 |
|                                     | ガソリンハイブリッド車  | 3   |   |
|                                     | 合計           | 54  |   |
| 委託業者が宅配事業(共同購入・個配)で使用している車両(トラックのみ) | ディーゼル車       | 22  | 台 |
|                                     | ディーゼルハイブリッド車 | 10  |   |
|                                     | 合計           | 32  |   |

■車両の環境対策で実施していること

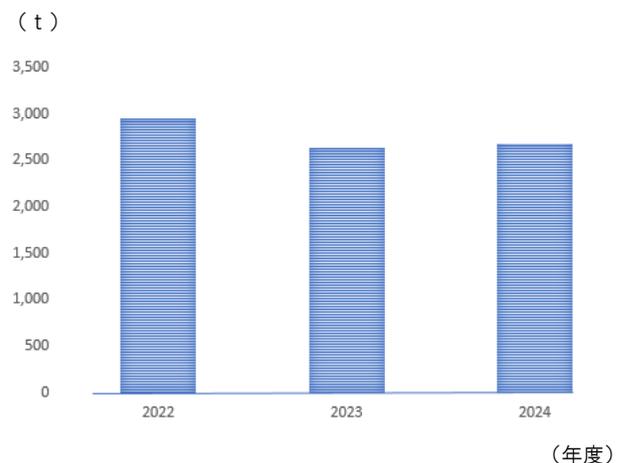
|  |      |
|--|------|
| 共同購入・個配の混合などでの 配送効率向上による走行距離の短縮        | ○    |
| 配達曜日・時間変更による コース変更による走行距離の短縮           | ○    |
| 地図システム等の活用による コース最適化による配送効率の向上・走行距離の削減 | —    |
| より低公害(Nox、PM)車両の導入                     | —    |
| より低燃費(燃料購入価格、CO2 排出量)車両の導入             | ○    |
| →低燃費車の具体的な車両の種類                        | 低燃費車 |
| エコドライブの取組み(具体的に:急発進の抑制による)             | ○    |
| デジタコ・車載機などのエコドライブ支援機器の利用               | —    |
| 組合員拡大業務のためのトラック使用の削減(例:乗用車使用、トラック相乗り等) | ○    |

■CO<sub>2</sub>排出量の削減

|        |        |
|--------|--------|
| 2024年度 | 2,676t |
|--------|--------|

2024年度は電力使用量が増加したこともあり、前年度対比で101.7%と増加することになりました。

※2024年度の実績は現時点の見込数値となります。



## 組織の概況について

■名称:こうち生活協同組合 ■代表理事 理事長:佐竹 一夫

■創立:1985年11月18日

### ■事業所一覧

| 事業所名         | 所在地               | のべ床面積                |
|--------------|-------------------|----------------------|
| 本部事務所        | 高知市薊野中町 16-8      | 601 m <sup>2</sup>   |
| 共同購入<br>配送支所 | 中央支所              | 高知市南河ノ瀬町 156         |
|              | 東支所               | 高知市大津乙 916-1         |
|              | 安田支所              | 安芸郡安田町安田 3114-3      |
|              | 須崎支所              | 須崎市桐間東 46            |
|              | 四万十支所             | 四万十市具同 240-1         |
|              | 南国支所              | 南国市篠原 1784-1         |
| 店舗           | コープよしだ            | 高知市吉田町 6-6           |
|              | コープかもべ            | 高知市鴨部 2 丁目 4-43      |
| 商品センター       | 南国市三和琴平 1-1743-12 | 4,417 m <sup>2</sup> |

### ■主な事業内容

消費生活協同組合法に基づいた生活協同組合で、協同互助の精神に基づき、組合員の生活の文化的・経済的改善向上をはかることを目的としています。

| 事業種目   | 主な事業品目  |
|--------|---|
| 供給事業   | 農産、水産、畜産、日配品、加工食品、菓子、パン、卵、冷凍食品、日用雑貨、衣料品、配食サービス、その他    |
| 受託共済事業 | CO・OP 共済《たすけあい》《あいぶらす》、終身共済、火災共済等、コープ学生総合共済           |
| サービス事業 | 各種チケット、住宅新築・改築、布団クリーニング、エアコンクリーニング、ギフト、書籍、葬祭事業、引越、その他 |
| その他    | 提携サービス等   |

### ■事業概況

|           |              |
|-----------|--------------|
| 組合員数      | 104,784人     |
| (内訳) 共同購入 | (74,764人)    |
| 店 舗       | (30,020人)    |
| 事業高(供給高)  | 118億8,275万円  |
| (内訳) 共同購入 | (97億4,560万円) |
| 店 舗       | (19億9,740万円) |
| サービス      | (1億3,974万円)  |
| 出資金       | 45億5,165万円   |

※1万円未満は切り捨て ※2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)集計

#### 編集方針

この報告書は、こうち生協が取り組んでいる社会的責任・社会的役割に関する活動を報告するものです。この中では、国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」と関わりのある事業や活動の事例にアイコンを掲載しています。

#### 対象期間

2024年度の事業・活動を報告しています。



# CSRレポート

2025

こうち生活協同組合

〒781-0013 高知県高知市薊野中町 16-8

TEL : 088-826-5211 FAX : 088-826-5252



<https://www.kochicoop.or.jp/>

こうち生協

